

行政の一部に「永遠のβ版」的発想を導入し、トライアル・アンド・エラーを認めていこう。

ウェブではまずβを出して、回しながら、だめな点があれば改修してしていく。これは完全に行政サービスの考え方と対極にある(⑤小林G)

企業ならば、だめな商品をつくっても、それは売られなければオウンリスクで許される。そういうような試みはなかなか行政では許されない。(①土居)

全体像を見ながら成功させようとする、どうしてもトライアル・アンド・エラーを許容しないと、絶対に全体像からシステムは完成しない(⑤堀場)

官と民の違いは「公権力の行使」にある。国民の権利を制約するからこそ間違っはいけないし(無謬性)、ある人の権利に関わるので公平(横並び)でなければならない。また、慎重に判断しなければならないので前例主義になる。これらをどうしたらよいか。(⑦森田)

行政の弱点は官の特性によるもの。例えば、原発の運営はトライ&エラーでは困るし、基本的人権の保障はユニバーサルでなければ困る。そうしたコアとなる機能を選別することが大事で、「保障領域」と「実験領域」を考えて、行動することが大事。(⑦大屋)



(出典:Firefox プレビューリリースページ)



(出典:第5回懇談会 インフォグラフィクス)